



Windows CE 2.x および Pocket PC 用のサンプル jConnect アプリケーション

本書では、SQL Anywhere Studio を使用して Windows CE または Pocket PC で Java アプリケーションを実行する方法について説明します。

本書には、sample.java および sample.class という 2 つのファイルが付属しています。

要件：

Windows CE で Java アプリケーションを実行し、そのアプリケーションと SQL Anywhere Studio 8.0.x の間の通信を確立するには、次のものが必要になります。

- SQL Anywhere 8.0.0 および 8.0.1： Windows CE バージョン 2.11 以降を実行している Windows CE デバイス (Pocket PC など)
- SQL Anywhere Studio 8.0.2 以降： Windows CE バージョン 3.0 以降を実行している Windows CE デバイス
- PersonalJava™ Runtime Environment for Windows CE 3.0 以降
- インストール済みの jConnect ドライバ

Windows CE で Java アプリケーションを実行し、そのアプリケーションと SQL Anywhere Studio 7.0.x の間の通信を確立するには、次のものが必要になります。

- Windows CE バージョン 2.11 以降を実行している Windows CE デバイス (Pocket PC など)
- PersonalJava™ Runtime Environment for Windows CE 2.11 以降 (Pocket PC バージョン 1.0 など)
- インストール済みの jConnect ドライバ

Java アプリケーションを実行するには、次の 2 つの引数が必要です。

- 最初の引数は、ホスト・マシン名または IP アドレスです。
- 2 番目の引数は、Adaptive Server Anywhere サーバ名です。

Sh3 プロセッサを備えた Windows CE で PersonalJava をセットアップするには、次の手順に従います。

1. PersonalJava をダウンロードします。PersonalJava がインストールされていない場合は、次の Web サイトから PersonalJava をダウンロードすることができます。
<http://developer.java.sun.com/developer/earlyAccess/personaljava/>.
2. PersonalJava をインストールします。PersonalJava ファイルを圧縮解除したら、CAB ファイル pjavawince.sh3.CAB を Windows CE デバイスのテンポラリ・フォルダにコピーします。Pocket PC の場合は、ARM プロセッサに属する CAB ファイルをコピーする必要があります。
3. CAB ファイルをタップします。これにより、PersonalJava がデバイスにインストールされます。

PersonalJava と他のプロセッサ: MIPS や ARM などの別のプロセッサ上で Java アプリケーションを実行するには、そのプロセッサ用の PersonalJava をダウンロードします。各プロセッサには、それぞれ固有のランタイム環境があります。

アプリケーションをデバイスにダウンロードするには、次の手順に従います。

1. Java 1.1.8 を使用して、デスクトップ・マシンでアプリケーションをコンパイルします。
2. アプリケーションが正常にコンパイルされたら、ファイル **sample.class** を Windows CE デバイスにコピーします。アプリケーションは、任意のフォルダに入れることができます。この例では、javadb という名前のフォルダをルートに作成します。ルートはバックスラッシュ '\ ' であるため、このフォルダは \javadb になります。
3. Windows CE で実行している Adaptive Server Anywhere に接続するには、デスクトップ・マシンから、アプリケーションが存在するフォルダに jdbcdrv.zip (jdbcdrv.zip) をコピーします。Windows XP、2000、NT、98、95 のインストールの場合、このドライバは Adaptive Server Anywhere の %ASANY8%/java または %ASANY7%\java フォルダに配置されます。デフォルトでは、ドライバは C:\Program Files\Sybase\SQL Anywhere 8\java に配置されます。

これで、\javadb フォルダにファイル **sample.class** と **jdbcdrv.zip** が含まれることとなります。

デバイスで Java アプリケーションを設定するには、次の手順に従います。

1. Windows CE デバイスで、pjava.exe 実行ファイルのショートカットをデスクトップに作成します。

ショートカットを作成するには、次の手順に従います。

- a. pjava.exe ファイルが配置されているフォルダ (C:¥Program Files¥Java¥bin¥pjava.exe) に移動します。
 - b. そのファイルを強調表示します。[ALT] キーを押しながら、強調表示されたファイルをタップします。
 - c. ポップアップ・メニューから [コピー] を選択します。
 - d. [ALT] キーを押しながら、デスクトップの空き領域をタップします。
 - e. ポップアップ・メニューから [ショートカットの貼り付け] を選択します。
2. ショートカットを強調表示します。
 3. [ALT] キーを押しながら、強調表示されたショートカットをタップします。
 4. [プロパティ] を選択します。
 5. [ショートカット] タブをタップします。
 6. [リンク先] フィールドに次の行を追加します。

```
-classpath "¥javadb¥jdbcdrv.zip;Classes" -file ¥javadb¥sample.class asademo
```

- **-classpath** では、jConnect ドライバを組み込むためのクラス・パスが設定されます。
- **-file** は、実行するアプリケーションを Java に伝えます。
- **asademo** は、アプリケーションに渡す引数です。

これらの追加を行うと、[リンク先] フィールドの行は次のようになります (すべて 1 行に入力)。

```
"¥Program Files¥Java¥bin¥pjava.exe" -classpath "javadb¥jdbcdrv.zip;Classes" -file ¥javadb¥sample.class asademo
```

7. [OK] をタップします。これで、Java アプリケーションを実行できるようになります。

Pocket PC 用のショートカットを設定するには、技術資料『FILE メッセージ・タイプを使用した Windows CE でのレプリケーションのセットアップ』を参照してください。この文書には、Pocket PC 上でショートカットを作成する方法が記載されています。

データベース・ファイルをデバイスにコピーするには、次の手順に従います。

1. デスクトップ・マシンの SQL Anywhere Studio インストール・ディレクトリ (デフォルトの場所は、C:¥Program Files¥Sybase¥SQL Anywhere 8 と C:¥Program

Files¥Sybase¥SQL Anywhere 7) から Windows CE デバイスの ¥javadb フォルダに **asademo.db** をコピーします。

注:すでに Windows CE デバイ스에インストールされている **asademo.db** ファイルは使用しないでください。このファイルは Java に対応していません。

Pocket PC で Adaptive Server Anywhere サーバを起動するには、次の手順に従います。

1. エクスプローラを開きます。
2. フォルダ ¥Program Files¥Sybase¥ASA に移動します。
3. **dsrv8.exe** をタップします。
これにより、[Adaptive Server Anywhere 接続] ダイアログが開きます。このダイアログでは、データベース・ファイルの名前を指定できます。
4. [データベース] フィールドに "**¥javadb¥asademo.db**" (引用符も含む) と入力します。
5. [TCP/IP] チェックボックスをオンにして、隣のフィールドに **-z** と入力します。

Windows CE 2.11 デバイスで Adaptive Server Anywhere サーバを起動するには、次の手順に従います。

1. **dsrv80.exe** のショートカットをデスクトップに作成します。ショートカットの作成方法については、「デバイスで Java アプリケーションを設定する」の手順 1 を参照してください。
2. ショートカットを右クリックして [プロパティ] を選択します。
3. [ショートカット] タブをタップします。
4. [リンク先] フィールドに次の行を追加します。

```
-x tcpip "¥javadb¥asademo.db" -z
```

-x tcpip を指定すると、サーバは TCP/IP を使用して接続を受け入れます。

5. [OK] をタップします。
6. ショートカットを 2 回タップしてサーバを実行します。
7. サーバが実行されて、サーバ・アイコンが右下隅に表示されると、そのサーバの準備が整ったことになります。

アプリケーションを実行するには、次の手順に従います。

1. 「デバイスで Java アプリケーションを設定する」で作成した Java ショートカットを

実行します。

2. 顧客の情報がデバイスの画面に表示されます。

ID	First Name	Last Name
101	Michael	Devlin
102	Beth	Reiser

これで、CE デバイス上のデータをフェッチおよび表示するための Java アプリケーションを使用して、Windows CE で実行されている Adaptive Server Anywhere データベースに接続したことになります。